

う店に勤め始めました。「アロー」は北大和の系列で、アイジヨージや坂本スミ子が専属歌手で、裏バンドでは、サックスの古谷充などがいました。料理屋さんの大きな屋敷が次々テナントビルに変わり、努力次第では誰でもママになった時代（あふれんばかりのお客様のおかげ）。どの店もピアノがあり、ピアノストを雇っていました。

林ママ 私二十歳のときです。ミナミ・三津寺筋で、キャバレー「メトロ」出身のママがやっていた店「じゅん」に勤め始めたのが最初です。昭和三十三年に勤め始めて、二年後の昭和三十四年に、堂島・上通りに、ママがビルを建てて店を出したんですが、私もそこに移ったんです。店は「ラ・モール」と「花束」の並びにありましたが、それが、北新地との出会いです。



ろまん亭：林 節子ママ



東司丘 興一理事長

谷山ママ 私は、昭和三十九年に北新地に来ました。ナイトアンド加代、その後クラブ水谷さんに少しお世話になり、独立しました。当時一歳になる子供がおり、家計を助けるためにこの世界に入ったんです。

ロマンチックな理由ではなく、現実的な事情がありました。でもお酒も飲めずに四十二年続けられているのは、やっぱりこの世界が好きだったのかもね。

肥後ママ 私は鹿児島出身で、地元で事務員をしていたんですけれど、母親がお金に苦労してたんです。それで、少しでも稼いで母を助けようと、二十二歳のときに大阪に出てきたんです。最初はミナミの「慕情」という店に入りました。かなり節約しながら生活してましたね。そのうち家族を大阪に呼び寄せて一緒に住めるようになりました。ちょうどその頃、ミナミから北新地に移ったんです。

金丸ママ 当時はもう結婚していたんで

ですけど、夫は船場のぼんぼんで、派手好きな人でした。私もまだ、若かったし、それで子ども二人を引き取って暮らし始めたんです。当初は、近所の奥さん連中にミシン仕事を斡旋したりしてたんですけど、それだけではね…… やっぱり生活が苦しかったです。そんなとき、友達が北新地でアルバイトしたらどうかって誘ってくれて…… お給料が五千円も貰えるということだったので、その高さにビックリして、それでアルバイトに来たのが最初です。それから伊吹、北来行、クラブベベと移り、下積みをして、今の場所サヨンデ・幸代をオープンしましたが、段々不況になり、十二年前にお惣菜バーSayoに変え、落ち着き現在に至っています。

小阪ママ 私は最初、「アンバサダー」という店に、バニーガールとして入ったんです。ホステスさんとは違って、待遇はよかったですけど、やはりホステスになりたいと思って……

二十歳の頃でしたけれど……あの時代は、私たちの時代にホステスさんは若くて、二十七、八歳くらいの方が多くて、若い人はあまりいなかったですね。だから、よく可愛がっていただきましたね。恵まれてたんだと思います。しばらくしてチェーン店の「アモール」に移りました。そのあと、「ダイヤモンドクラブ」



北新地ママさん座談会

わが街 北新地を語る

北新地社交料飲協会の設立50期を迎え、設立当時からこれまで、北新地と大きくかわって来られたママさんにお集まりいただき、その出会いや思い出など、北新地ならではの物語をお話いただきました。

クラブ山名	山名 和枝ママ	ろまん亭	林 節子ママ
クラブ薔薇	谷山 恭子ママ	CLUB司	肥後 絢子ママ
バーSayo	金丸 幸代子ママ	マダム小阪	小阪 則子ママ
クラブ神原	神原 美恵子ママ	ジュリアーノ	小林 悦子ママ
司会	東司丘 興一理事長		



クラブ山名：山名 和枝ママ

東司丘理事長 「北新地社交料飲協会」の前身である「天満バー組合」ができたのが昭和三十七年です。ちょうどその頃、お茶屋さんに替わって、ダンスホールやキャバレーがこのあたりにもどんどんできてきたんです。それまで女給さんと呼ばれたのが、ホステスさんと呼び方を変えたのもちょうどこの時期でした。今日集まっていた皆さんもその頃、この業界に入ってきたらたんだと思いますが、そのいきさつを教えてください。

山名ママ 私は、五十一年前（昭和三十四年）にこの世界に入りました。ちょうど二十四歳の頃で、当時公開された「夜の蝶」という映画を観て、それに憧れたんです。華やかなイメージに憧れたというか…… 女性が、政財界を手玉にとっている姿を見て「そんな世界に私も入ってみたい」って思っただけなんです。それで、最初「アロー」とい

❖ わが街 北新地を語る ❖



バーSayo：金丸 幸代子ママ

……今は、楽しませて頂いています。
 谷山ママ 私は普段と一緒にできないような方々と毎週日曜日にコースに行くのが一番の楽しみです。
 山名ママ ゴルフなさってるママさんの店は、長く続いているわよ。私はお店の女の子たちに、ゴルフを勧めてるんです。ゴルフなさってるお客様は余裕があるんやと思う。財力的、体力的にもね。一緒にゴルフなさってるママさんたちも、みんな元気ですよ。だから、長続きするんやと思う。
 東司丘理事長 お客様の思い出やお客様への思いを教えてください。
 山名ママ ありますよ。語り尽くせないほどね……。この仕事は口が堅いのが当たり前ですけど。路地曲がったすぐのところ、大企業の社長がいたりね。それが、夜

の世界。遊ぶのが上手な方々は、行った土地のそういう街を必ず訪れるから楽しいお仕事です。
 林ママ 昭和三十五年頃の話ですが、私はまだ「じゅん」で働いていた頃、ある有名なママが、「〇〇さん来てはるでしょう」と酔っぱらって怒鳴りこんで来られました。お客様には「来ていることは内緒やで」と言われてましたから、皆で遮りましたが、「メイビーアイシンクソウ」と無理やり入ってこられました。店の前に運転手さんの車、止まっていたから「頭隠して尻隠さず」ですね。そんなことがあって大変でした。
 山名ママ ここでは、自分の追求していることに、裏切られることはないですからね。もちろん、生活のために続けてるんですけど、本当に魅力的なお仕事やと思ってます。毎日、いろんな人とお話ししたり、お付き合いできるわけですものね。築き上げた人脈に助けてもらったり、助けて差しあげたりもできる。そんな関係を持てさえすれば、百年で



ママム小阪：小阪 則子ママ

も続けられると思う。そしてお客様のお祝いごとがあれば、お祝いさせてもらいう心の余裕を持つことも大事ですね。開店以来のお客様も、もう三代目の時代になってます。
 谷山ママ 私のお店でも、二代目さんが多く来ていただいています。お孫さまも二組お見えになられてます。その中のお一人にサントリーの古川さんがいます。おじさまの古川孫七郎様にたいへんお世話になりました。
 肥後ママ うちでも、お客様のお孫さんが来てくれます。
 小阪ママ うち企業にお勤めの方がお客様には多いんですけど……。独立した頃、先輩のママさんによく「ひとりのお客様だけを大事にしてたらアカン」ってよく言わ



ジュリアーノ：小林 悦子ママ

に移ったりもしましたが、昭和五十三年に独立したんです。そのときは、昔の友達がみんな協力してくれましたね。
 神原ママ 私がこの世界に入ったのもやはり、二十歳の頃でした。ミナミで喫茶店のウェイトレスをやり始めたんですけど、そのうちに高級料亭「大和屋」の受付として入ったんです。みんなには「続かへん」って言われましたけど、ここしかないと思って頑張りました。泣くようなこともありましたが……。最初はアルバイトでしたが、そのうちお座敷にも上がるようになったんです。新地に来たのは、二十八年前に「桔梗屋」に移ったのが最初です。それから独立しました。この世界に入って、ちょうど十年経ったときでした。
 小林ママ 昭和五十六年に、新聞広告で見つけたお店で勤め始めたのが最初です。そこは、アフターや同伴は禁止、お客様と

のプライベートもダメっていう感じで、まるで会社勤めしてるみたいでした。三年ほど勤めて、昭和五十九年に独立しました。時代も良かったんだと思いますけど……。いいビルが建つからという噂を聞いて……（テナントとして入るのは）無理と言われてたんですけど、どうしてもそのビルに行きたかったんです。ダメもとで、申し込んだんです。そしたら、運よくテナントに入れたんです。本当にラッキーでした。
 東司丘理事長 皆さんそれぞれの物語がやはりあるんですね。ところで、働き出した当時のお給料はお幾らくらいでしたか？
 谷山ママ 昭和三十九年頃の日給を水谷のママにお聞きしたら、5000円ぐらいだったそうです。お客様の飲食代は10000円ぐらいで、売り上げの半分がほしいお給料で、今は飲食代よりホステスさんのお給料が高いので厳しいですね。
 林ママ 昭和三十四～五年頃、私が「じゅん」で働いていた頃は、20000円から23000円ぐらいだったと思います。
 山名ママ 私が勤めていた「アロー」では、昭和三十四年頃でしたけれど……。一律に10000円でした。でも、呼ばれたら3000円付くんです。だからね、公平やと



CLUB司：肥後 絢子ママ

思っていました。
 東司丘理事長 その頃の大卒者の初任給が10000円から12000円くらいでしたからね。みなさん高給取りでしたね。今、皆さんの楽しめと言えどどんなことですか？
 林ママ 毎日来てくださるお客様とお話しするのが、楽しいですね。私は、飛行機が嫌いなので、旅行とかはあまり行かないんです。だから、お店にいるときが一番好きです。
 山名ママ 私もそれが一番楽しい。普通だったら、会えないような人が来てくださるから。そんな方たちとおしゃべりするのが大好きです。
 肥後ママ お客様がみなさんゴルフなされますから、私も一緒にするようになって

❁ わが街 北新地を語る ❁

ていつてるような気がしますけど…… それでも、ピンチはチャンスとも言いますからね。私は店の子に「暇や暇や」って絶対言うなって言ってるんです。「忙しい忙しい」と言うようにしたら、不思議にそうなるような気がします。

林ママ お客様も、失礼な言い方ですけど、キッチンと賤けないといけないと思いますね。ジージパンはいて店に来たお客様でも「今日こんな格好で来てすみません」って一言あるとないとは、違いますよね。昔は北新地で飲むということ自体が、ステータスやと思われてましたよね。

山名ママ それはね、やってるこっちも同じでね、店の人もキチツとしてないとアカンと思う。

林ママ そうですね、なんでもかんでもお客様の言うことを聞いてしまいがちやけど、お客様も、店（の対応）によって飲み



クラブ薔薇：谷山 恭子ママ

れたんです。（お客様の）なかには、すごい（お金を）使ってくださるお客様がいたんですけれど、やっぱりわがままな方で、こっちも振り回されることもありましたね。だから、年に何度かしかな来られないお客様でも、満足していただけるような体制をつくっておくことが必要ですね。そして、そういうお客様を大事にする。そうすれば、長くお付き合いいただけます。だから、う



ちの強みは顧客数だと思っています。

東司丘理事長 皆さんにとって辛かったのはどんなことでしたか？

神原ママ 「桔梗屋」の時代でしたけど、好きな人ができて、この世界から足を洗おうと思ったこともありました。けどね、やっぱり店を取りました。そのとき、「辛いな」って思いましたね。当時は、恋にもつれ、愛にもつれました……今は舌がもつれてますけどね（笑）。でも、店を続けることを選んで正解やったと思ってます。

肥後ママ 私は同棲を三年間続けてたんです。子どもができたら籍を入れてもらうつもりだったんですけど、結局できなくて…… お酒が好きで、肝硬変を患って亡くなったんです。それで、仕事しないと決心して、独立したんです。子どもは欲しくて、未婚の母も仕方ないかなと、そのときは思ってたんですが…… これまで店も続けて来られて、それはそれで、良かったと思います。

東司丘理事長 皆さんにとって北新地とは？

神原ママ 「大和屋」に勤めていた頃のミナミと北新地とは、まるつきり違いますね。ミナミにいた頃、先輩のお客様に、私たち新人が話しかけたりするのはタブーだったんです。逆に新地では、先輩のお客様にもどんどん話しかけてくれて言われましたね。顔見知りのお客様だったら、愛想しなさいってことですね。それに、ミナ

方が違ってくると思います。

東司丘理事長 新地に来ていただいたいるお客様もいろんな飲み方をするんですね。北新地は、「より良い街」、「安心安全な街」、「信頼される街」を目指しているわけですが、北新地の今後について、皆さんの意見を聞かせてください。

林ママ 私のところの悩みはね、従業員が年取りすぎたことです（笑）。この前も店の女の子に「あんた年いくつ？」って聞いたら「四十とか四十三とか」ビックリするほどでね。でもやっぱり、その子がいるから、来てくれるお客様もいらっしゃるからね。財産やと思えます。

小阪ママ いい女の子を揃えておくのは大事ですね。新しい子がいいたら「疲れる」と言うお客様もいらっしゃいます。でも、古い子がいいたら、「もっと若い子いないのか」って言われる（笑）。だから、ベテラン、中堅をコアにして、一〜二年の若い子が替わっていくのがいいのかなと思います。

山名ママ 繁盛してるときは人が足らなくて困るし、人に困らないときはお客様に困る（笑）。ずいぶんお客様にはご苦労かけたので、今はご恩返しの時代やと思います。

神原ママ 女の子をキチツと指導しながら、経営者も真心を持ってお客様をご接待しないといけないですね。まとまりがないと、お客様に使ってもらえない時代になりました。

小阪ママ すごいお店がだんだんなくな



クラブ神原：神原 美恵子ママ

ミの店には、お年を召したお客様が多かったから、来られたときには、ゆっくり頭を下げて、ゆっくりあげる。なんでもゆっくりやるのが通例でした。その調子でこっちでも、ゆっくりご挨拶して顔をあげたらもうお客様が飲んでらっしゃったっていうこともありました（笑）。もうカルチャーショックでしたね。それだけ、合理的でスピーディだったと感じましたね。しゃべり言葉も、ミナミでは「おいでやす」や「おおきに」とかね、大阪弁まるだし。こっちでは、そういう言葉はやめてくれて言われました「いらっしやいませ」や「ありがとうございます」って。やっぱり（北新地は）洗練されてたんやと思います。

肥後ママ 今の北新地って、昔で言う

「社交の場」という意識がなんとなく崩れ

ってくるのが寂しいですね。でも、今の若い女の子でもちゃんと育成すれば、大丈夫やと思ってます。それをせずにあきらめてしまいう店が多い。私のお店でも、二十二年もやってきていた女の子が辞めてしまったんですけど……だから、次の世代の女の子たちへの指導を頑張ろうと思ってます。お母さんたちがつくってきてくれた北新地をこれからも残していきたいですからね。

谷山ママ 日本中に知れ渡っている北新地ですから、その伝統を続けられるように頑張っていきたいと思えますし、今の若いママたちにも北新地の良い所をどんどん受け継いでいってほしいと思います。

東司丘理事長 今日はお忙しいところ、皆さんにお集まりいただき、貴重なご意見を聞かせていただきました。どうもありがとうございました。



クラブ北新地：星野 清久ママ